

島原からサッカーを盛り上げる

プロサッカーチームが島原キャンプを実施

1月から2月にかけて、今シーズンからJ2の舞台へ登場する地元プロサッカーチーム「V・ファーレン長崎」と北九州市を本拠地に持つ同じくJ2の「ギラヴァンツ北九州」がそれぞれ島原でキャンプを行い、開幕へ向けた調整を行いました。



V・ファーレン長崎



ギラヴァンツ北九州



古式漁法「スクイ」の保全活動が評価されました

「みんなでスクイを造ろう会」が長崎県地域文化章を受章

1月30日、「みんなでスクイを造ろう会」が第28回長崎県地域文化章を受章したことを、代表の中山春男さんらが古川市長に報告に訪れました。

スクイ（石干見）は、干満の差を利用し石積みの中に残った魚をとる漁法で、干満の差が大きい有明海沿岸部特有の漁法です。年々、その数が減少し、今ではほとんど残っておらず、会の皆さんにより修復再現され、年数回、市民や観光客を対象にイベントを開催し、伝統文化の継承と保存を行っており、その活動が評価されての受章となりました。



中山春男さん（右）らが報告に訪れました



楽しい給食の時間

地元の食材で健やかに

ふれあい給食を行いました

1月31日、全国給食週間に合わせ「ふれあい給食」を行いました。

ふれあい給食では、市長ほか教育長、教育委員などが大三東小学校を訪問し、児童らと共に地元食材がふんだんに使われた給食を食べ、学校生活の話をするなどして楽しい時間を過ごしていました。

市長の思いを電波に乗せて

「島原が大好き！市長の元気トーク」スタート

1月31日、コミュニティFM「FMしまばら」内で古川市長が生出演する「島原が大好き！市長の元気トーク」の放送がスタートしました。

記念すべき第1回目は、島原の観光名所「島原城」の天守閣で行われ、たまたま訪れた観光客と会話を交えたり、市の行事のお知らせや市長の思いなどが放送されました。この放送は、FMしまばら（88.4MHz）で毎月下旬に放送予定です。



FMしまばら・鯉家小によろさん（左）、古川市長と観光客とのトークの様子

柴崎 博文氏が副市長に就任

1月30日に開かれた市議会定例会で、副市長の選任案が同意され、柴崎博文氏が2月1日付けで副市長に就任しました。



柴崎 博文氏 (56)

【略歴】

昭和54年に島原市職員として採用後、市長公室長、産業振興部長などを歴任。

【任期】

平成25年2月1日から平成29年1月31日まで

市役所の人事異動

平成25年2月12日付けで、人事異動を行いました。

▶部長職

新所属	旧所属	氏名
産業振興部長	産業政策グループ長	辻 信之

▶グループ長職

新所属	旧所属	氏名
産業政策グループ長兼企画調整班長	産業政策グループ企画調整班長	西村 栄

「はくさん元気かい」が県知事表賞受賞

2月13日、「はくさん元気かい」が介護予防推進功労知事表彰を受けたことを、代表の荒木學さんが古川市長に報告に訪れました。

今回の表彰は、「健康づくりおよびふれあい」をモットーとした介護予防に向けた取り組みが評価されたもので、会ではさらなる内容充実に向けた取り組みを行うとともに、仲間の輪を拡大しています。



荒木學さん（中央）らが報告に訪れました

100歳 おめでとうございます



中山 龍代さん（1月29日）

「がまだす地域づくり交付金」を活用した地域の取り組み（安中地区）



地域コミュニティの活性化を図るため、地域住民による地域独自の活性化策が日々展開されています。町内会・自治会が取り組む地域コミュニティ活動の維持・促進を支援するため、市では「がまだす地域づくり交付金」を交付しています。

今回は、「安中地区」の取り組みを紹介します。

安中地区の取り組み

安中地区は、33の町内会で組織され、地域見守り活動やスポーツ大会などの活動に取り組んでいます。

主な活動事例

① 地域見守り事業

ごみ収集日に高齢者宅を訪問し、ごみ出し支援に加え、健康状態確認などの見守りを行っています

② 絆・交流活性化事業

世代間の交流の機会として、ふれあい運動会などを開催しています



新たに「地域の元気づくり支援補助金」が加まりました

県の事業（地域の元気づくり支援交付金）を活用した補助金で、各地区町内会・自治会の活動に必要な用具購入に利用されています。

主な活用事例

- ・地域見守り隊ジャンパー
- ・植栽用プランター
- ・イベント用具類（ターゲットバードゴルフ、玉入れなど）



町内会・自治会への加入はお住まいの地域の町内会長・自治会長または政策企画グループ秘書広報班(☎63-1111内線124)へ問い合わせてください。